

第34回議会運営委員会会議記録

- 【開催日】 平成29年3月22日（水）
【開催場所】 第2委員会室
【開会・散会時間】 午前11時～午前11時22分
【出席委員】

委員長	大井 淳一郎	副委員長	河崎 平男
委員	石田 清廉	委員	下瀬 俊夫
委員	矢田 松夫		

【委員外議員等】

議長	尾山 信義	副議長	三浦 英統
----	-------	-----	-------

【事務局出席者】

事務局長	中村 聡	事務局次長	清水 保
主査兼議事係長	田尾 忠久	庶務調査係長	島津 克則
庶務調査係主任主事	梅野 貴裕	議事係主任主事	原川 寛子

【付議事項】

- 1 政務活動費について
- 2 議員研修会について
- 3 平成29年第1回（3月）定例会に関する事項について
- 4 その他

【議事の概要】

- 1 政務活動費について
 - ・事務局から資料1の政務活動費使途基準の変更点を説明した。
 - ・事務局から「使途基準を4月1日から施行し、29年度支給分から適用したい。収支報告書や領収書等の添付書類を情報公開請求によらず公開するよう政務活動費の交付に関する規程を改正し、ホームページへの掲載や閲覧用資料の事務局常備を考えている」との発言があった。
 - ・下瀬俊夫委員から「3ページ留意事項の2点目、調査研究活動は公務でないとなっているが、政務活動費の位置付けはどうなのか」との質問があった。
 - ・事務局から「公務の有無の問題ではなく、旅費規程を準用しないので日当は払わないという考え方のほうがいいので削除する」との発言があった。
 - ・尾山信義議長から「交通費でSuicaなどを使った場合はどのように対応すればいいのか」との質問があった。

- ・事務局から「客観的に運賃の確認ができるので、その明細が領収書に変わるものとする」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「Suicaだったら領収が出るが、基本的に目的地までの計算上の旅費の確認だけでいいということか」との質問があった。
- ・事務局から「初回であれば手数料が余計に掛かるので、運賃と合わないということがある。実際に使用した金額の明細が領収書の代わりになる」との発言があった。
- ・矢田松夫委員から「公共交通機関がない場合のタクシー代は実費でいいのか」との質問があった。
- ・事務局から「その場合は領収書を取って、添付することになる」との発言があった。
- ・石田清廉委員から「11ページの資料作成費の保守点検料や修理代については個人的なものも含まれると解釈できるのではないか」との質問があった。
- ・事務局から「修理代、保守点検料については会派若しくは無所属議員が政務活動費で購入したパソコンを想定している」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「使途基準に従って来年度から施行していく」との発言があった。

2 議員研修会について

- ・大井淳一郎委員長から資料2の議会改革実践講座（案）について説明があり、「テーマは議会報告会に参加者が少ない懸案事項や議会モニターを含めた住民参加を考えている」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「一般市民の傍聴があるのか、議員だけの講演なのか」との質問があった。
- ・大井淳一郎委員長から「午前中は議会モニターに関心のある方も含めた市民の傍聴を考えている」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「インターネットで流すということか」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「中継は考えていない。会場も含めて事務局と協議したい」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「前日からこちらに来るのであれば、本人の希望があれば議会報告会に参加されるのか」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「実際に見てアドバイスしてもらおうほうが実践的なので、講師と話をしたい。テーマについては議会報告会及び住民参加も含めた内容で設定したい」との発言があった。

3 平成29年第1回（3月）定例会に関する事項について

(1) 閉会中の継続審査について

(2) 議事日程変更案について

- ・ 継続審査となる議案第 30 号の取扱いについて確認した。詳細は別添資料のとおり。
- ・ 下瀬俊夫委員から「可能な限り早い時期に民生福祉委員会の中で検討しながら進めていきたい」との発言があった。

4 その他

- ・ 来年度も引き続き山梨学院大学の江藤教授に議会アドバイザーをお願いするとの報告があった。
- ・ 下瀬俊夫委員から「研修会講師の中村先生にもアドバイザーをお願いしたい」との発言があった。
- ・ 大井淳一郎委員長から「交渉してみる」との発言があった。

平成 29 年（2017 年） 3 月 22 日

議会運営委員長 大 井 淳 一 朗